

## 第17回環境情報科学センター賞

### < 学術論文奨励賞 >

受賞者：大石 卓史 氏（近畿大学農学部農業生産科学科）

対象業績：生物多様性に配慮した農業のステークホルダー分析と推進方策に関する一連の研究

#### 【選考理由】

受賞者は、本研究において、環境保全型農業、特に、生物多様性の保全に配慮した農業について、生産者、行政、消費者といった多様な関係者間での連携状況に視点をあて、それぞれの立場の者を被験者として一貫した調査研究を展開している。対象者が一側面で分析されることがほとんどのこうした研究において、関係者間での連携状況に視点をあてたことは先見性に秀で、また分析から示されている知見は社会的有用性の高いものである。

とくに、本研究における生物多様性の保全のための農業の推進に果たす自治体の役割についての研究は、これまでほとんど限られたものしかなく、受賞者の研究は先駆的研究であるといえる。また、受賞者は、その推進に関する自治体側の課題に対して適切な体制構築等の具体的方策についても論じており、さらに、都市住民の生物多様性の保全に配慮した農業の取り組みを支持する層の役割の重要性についても解析している。それらの重要な成果が、当センターの論文集や専門学術誌に掲載されていることは評価に値する。

以上の理由から、本研究は環境情報科学センター賞の学術論文奨励賞として十分値するものと判断する。

#### < 対象論文 >

- ① Takafumi, OISHI (2016) Possibility that biodiversity conservation will lead to improvements in the unit sales price of agricultural products - Analysis of a questionnaire survey of farmers carrying out Ikimono Mark practices. *Journal of Environmental Information Science*, 44(5), 63~70.
- ② 大石卓史（2015）基礎自治体における環境保全型農業推進の取り組みの現状と課題—神奈川県、山梨県、静岡県内の基礎自治体を対象として。環境情報科学, 44 (3) , 67~72.
- ③ Takafumi , OISHI (2015) Analysis of Value Recognition and Features of Biodiversity-friendly Agriculture Perceived by Urban Residents. 環境情報科学学術研究論文集 29, 89~94.
- ④ 大石卓史・大南絢一（2015）生物多様性に配慮した農業由来の農産物・加工品に対する消費者選好—一品目別の価格プレミアムとその規定要因。フードシステム研究, 22 (3) , 287~292.